

# もやもやフィールドワーク

## 報告と対話編 第10回

第1部 報告：共にみることー視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップに参加して  
第2部 対話：哲学カフェ ※テーマは当日集まった皆さんと決めます

平成28年 2月25日(木) 19:00~21:00 (開場：18:45)

会場：芝の家(東京都港区芝3-26-10)

定員：15人程度(要事前申し込み。定員に達しだい、申し込みを締め切らせていただきます。)

参加費：500円(介助者1名無料)

報告：長津結一郎、石橋鼓太郎(多様性と境界に関する対話と表現の研究所)

進行：井尻貴子(多様性と境界に関する対話と表現の研究所)

昨年度より、「東京迂回路研究」のプログラムのひとつとして実施してきた対話型実践研究「もやもやフィールドワーク」。「報告と対話編」では、都内各所の医療・福祉施設やケアに関わる団体、活動現場に関する調査の報告とそれに基づいたテーマ設定による対話を行ってきました。

今回は、美術館や博物館などで活動している団体「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」のワークショップに参加した経験から考え、報告します。

また、後半は、哲学カフェのスタイルで、その場に集まった人たちが、進行役のもと、〈話すー聴く〉を丁寧に積み重ねてじっくり考える対話の場を持ちます。

分野を問わず、関心のある方のご参加をお待ちしています。

※内容は変更になる場合があります。

主催：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人 多様性と境界に関する対話と表現の研究所

もやもや話して考える

迂回路は  
“回り道”?

寄り道は  
楽しい?

踏み込むことを  
選ぶ?

### 申し込み方法(E-mailまたは電話)

E-mailの場合は件名を「報告と対話編 第10回申し込み」とし、①お名前、②ご職業、ご所属等、③ご連絡先(当日ご連絡可能なお電話番号)をお知らせください。  
※お預かりした個人情報は、主催者からのご案内のみに使用し、厳重に管理します。

### お問い合わせ・お申し込み先

特定非営利活動法人  
多様性と境界に関する対話と表現の研究所  
TEL 070-6437-3599  
E-mail info@diver-sion.org

### 会場案内

芝の家  
東京都港区芝3-26-10  
JR田町駅  
都営三田駅  
より徒歩10分



### 「東京迂回路研究」とは

「障害、ケア、労働、住処、ジェンダーやセクシュアリティ、国籍……社会のなかにある多様な生き方と、そのひとつひとつに引かれている境界線。しかしその線引きは、ふとした瞬間に揺れ動き、ずれを生み、つなぎ変わってゆくことがある。だとしたら、「わたしたち」は、生きるなかで言いようのないもどかさややりきれなさ、つらさやしんどさなどを感じたとしても、抜け道をみつけたり、寄り道をしたりすることで、既存の枠組みや境界をずらし、歩きぬくことができるのではないだろうか。」  
そのような考えから、平成26年度より開始されたプロジェクト。社会における人々の「多様性」と「境界」に関する諸問題に対し、調査・研究・対話を通じて、「生き抜くための技法」としての「迂回路」を探索する。  
www.diver-sion.org/tokyo/